

1. 授業事例

Mr. Robert Flosman；“博物館活動”の授業記録

(2019年9月18日, Waterdown District High School, 第11学年⁽¹⁾, 16~17歳)

【この「博物館活動」の授業は、フロスマンが第 11 学年の生徒を対象に開発・実施しているものがある。この授業は、オンタリオ州の社会科「カナダと世界の学習 (Canadian and World Studies)」⁽²⁾の第 11・12 学年で、地理、歴史、政治、法律、政策に関する各分野に分散して扱われていたジェノサイドを歴史学習として統合する独自の科目「ジェノサイドと人道に対する罪 (Genocide & Crimes Against Humanity)」の授業として実践された。以下の記録は、この博物館活動の第一回目の授業記録の全訳である。】

※なお、書き起こしに示したタイムは授業ビデオの経過時間を示している。

《授業開始：最初の約15分間》

Flosman 先生：ジミー (Jaime) さん、さあ、あなたが見つけたものから始めてもらえますか？

生徒 (Jamie)：あの、メダルの件ですか？

Flosman 先生：その通りです。

生徒 (Jamie)：このメダルは確か.....あの.....

Flosman 先生：立ち上がって話してね。

生徒 (Jamie)：(ジェイミーはメダルを皆に見せながら) このメダルは曾祖父の連隊の全将校に贈られたものだと思います。私はあまりフランス語ができないので、何が書いてあるか分かりませんが、彼のメダルのほとんどはフランス語で書かれています。つまり、彼はフランスに配備されていたのです。そしてこのメダルは、彼が戦争での任務を終えて本国に送られるときに授与されたものだと思います。そしてもうひとつ、小さな事実があります。私の祖母は、日中ドアを開けておくのに第一次世界大戦の弾丸をストッパーに使っています。(0:00:57)

Flosman 先生：わあ、じゃあ、それも博物館に持ち込もうか。みんな、もし君たちが家から何か持ってきたり、僕らの博物館で取り上げたい物語があるなら、僕は大大歓迎だよ。素晴らしいことだと思います。ご覧のように、ボードに3つのページがアップされています。いつでも、これらのページを取り外して、あなたのグループに置いて、変更することは歓迎します。これは決まり事ではありません。何も決まっていないのです。この博物館のアイデアは、皆さんにワクワクしてもらうことなのです。(0:01:26)

その一例を挙げましょう。昨日から博物館の準備を始めた他のクラスのヒーター (Heather) さんが「私は今学校にあるホロコーストの遺物にはあまり満足していません」と言ったのです。私は「どうしたらいいのですか」と尋ねました。彼女が「教室を作ってもいいですか」と言うので「もちろん」と答えました。学校には当時の教師が使っていた雑誌などもあります。「毒キノコ (Der Giftpilz: 反ユダヤ主義のプロパガンダ絵本)」もある。ほら、もう見たでしょ。あの「毒キノコ」は教室の一部になり得るもので、彼女は実際に教室を作ろうと考えています。彼女は博物館の中に実際に教室を作ろうと考えているのです。そこにヒトラーユーゲント役のマネキンを2体置こうと考えています。パリュビレッジ (カナダの古着屋のチェーン店) に行くのもいいかもしれませんね。興味がある人は、ヒーターさんとペアを組んで、それをやってください。他にもやりたいことがあったら、是非、やりたいことをしてください。嫌いなものにしがみつかないようにね。ホルトンさんは第一次世界大戦が好きそうですね。私ならそれにこだわりますね。ホルトン (Holton) さん、バイクをやりたいなら、そしてバイクは.....バイクはどこにあるんだろう？ この白バイは冷戦の真っ只中ですね。(0:02:34)

このすぐ後ろ、アンドリュウ (Andrew) さんの後ろのドアは閉じます。隣の部屋は第二次世界大戦、そして塹壕の作ってある部屋は第一次世界大戦、そして向こうの部屋はホロコーストなどの部屋になります。

昨日の授業でもすでに言ったように、今日帰る前に、手続きしておいてほしいことがあるんだ。普通、君たちは2時限目にこの授業を受



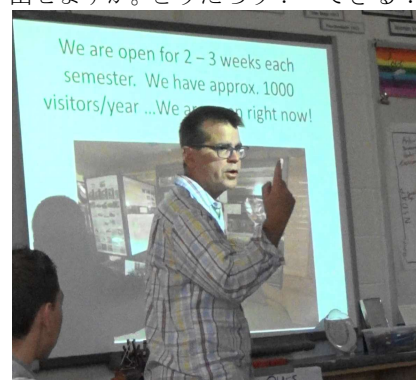
けるよね。博物館は10時にならないと始まらないから、それまでの30分間は、コーヒーでも飲んで、博物館活動を行う準備をしていてください。もし、「お昼に行きたいんだけど」「4時間目か3時間目のシフトに入りたくないんだけど」とかで3時間目に申し込んだら、2時間目の授業には来ないでね。3時限目か4時限目の授業に出ればいいんです。去年、ある生徒が「先生、私は3時間目でいいです」と言ったので、彼女は3時間目の授業を受けることにしました。ところが、ジーニン・マキザックから怒りのメールが来たんだ。「なぜこの子は授業に出ない？」と言うんだ。私はその生徒に尋ねると、「他の授業をサボって博物館活動ができると思ったのに」と言うんだ。他の授業をサボって博物館に来るなんてありえない。(注：博物館開館時の案内役の役割分担時間について説明しているものと思われる) 絶対無理。(0:03:57)

さあ、今日、考えてほしいのは、今日は初日なので大まかでいいんですが、基本的に学校が所有している色々な歴史的遺物を見てきてください。遺物の置いてある部屋を巡りながら、「これをやりたいな」ということを探してください。そして、今展示している遺物に満足できなければ、私に声をかけてください。(スペースの関係で学校が所有する遺物を全てを陳列することはできなかった) 適当なものがないか探してみます。例えば、昨日、二人の生徒が私に言いました。皆さんはカイル (Kyle) さんを知っているでしょ。彼が「先生、第二次世界大戦の刀があると聞きました」と言ってきました。私は「ええ、刀は持っていますが、今年は飾らないつもりでしまっておりまして」と答えました。彼が「刀剣の展示をやってもいいですか？」と尋ねるので、今日はその刀も並べておくことにしました。今日はその刀を見る事ができますよ。本当にかっこいいんですよ。(0:04:43)

素晴らしい歴史的遺物の中から、とても繊細なもの、そして先日お見せしたもの、あるいはお話ししたものを出示しますが、今日はとてもシンプルに、見て、気に入ったものを見つけてください。整理整頓は忘れないでください。混在させると大変なことになります。さあ、すぐにお見せしますよ。手袋をしてください。それから、どうやって展示するかも考えてね。去年の博物館は、どんな感じだったか思い出せますか。どうだろう？ できる？

うん、思い出せるはずですよ。特にこのライトは本当に雰囲気が変わるんです。この照明が消えて、周りに照明を置くと、展示物がライトアップされ、特に塹壕がより不気味に感じられるんです。(0:05:34)

さあ、皆さん、リサーチを始めましょう。博物館の開館まであと6週間です。今ここに作ってある塹壕だったら、それを修正することもできます。もちろん、あなたの家族のものを持ってくることもできます。でも、どうしてもやらなきゃいけない問題があります。冷戦期のバイクをやるのはいいんですけど、冷戦って何なのかっていうのを知らないのでは困る。冷戦のことを聞かれてもよく分からなくて説明できないのに、バイクのことは何でも知っているとしたら、それは問題です。だから、展示に向けて2週間、3週間、4週間・・・と積み重ね、1学期分の歴史を学ぶよりも、もっともっと学ばなければならないのです。いいですか？(0:06:15)

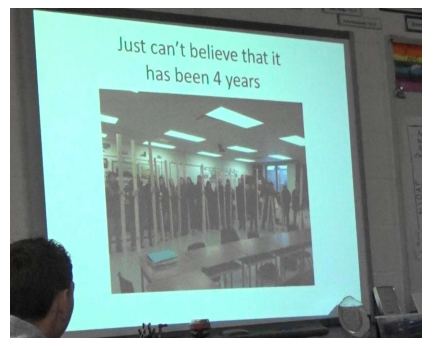


これは数年前の博物館の様子です。博物館がどんな感じか、思い出してみてください。今見ると「えーっ、ひどい」と思います。悪くはないのですが、今と比べるととてもシンプルです。毎年、どんどん良くなっているし、毎年、拡大したいですね。これは"WDHS 博物館"のロゴです。ライトで照らすとこんな感じです。これが最初の時の塹壕です。不気味に光っているのがわかると思います。このケースはライトアップされていて、子どもたちや人々がやってきて、彼らは完全にこれに引き込まれていますね。ベンチに座ってください、彼らは完全にこれに引き込まれていますよ。(0:06:55)

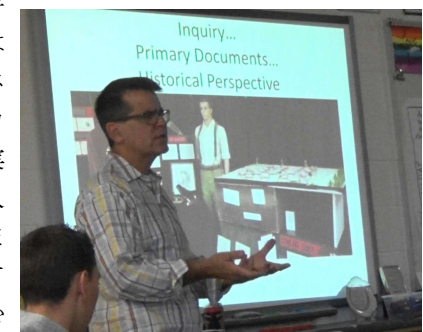
1年半ほど前、博物館の学芸員がここに来て、「やり方が間違ってる」と言いました。「どうして？」と尋ねると「1件あたりの成果物が多すぎる」と言われました。つまり「1つのケースに1つの成果物とするべきだ」ということでした。「1000個の美術品があるんだ」「子どもは見るのが好きだから」と私は言ったのですが、彼は「だって、人は色々ありすぎると、みんな興味を失って、そのまま立ち去ってしまうんです。1つだけでいいんです」ということでした。そういう訳で、1つのケースに1つの歴史的遺物です。例えば、ホロコーストの星は、大変な遺物なので、1つのケースに1つの遺物なんですね。ガラスケースを置いてその中にホロコーストの星 (イエローバッジ) を入れる。他には何も入れない。でも、皆さんは彼の意見に賛成かどうかはわかりませんが、彼はプロですから、私は彼の意見に従うことが多いですね。私は博物館の技術的な訓練を受けているわけではありませぬ。(0:07:54)

これは2年前の2017年、あるいは2018年つまり1年前の塹壕です。皆さん、これが塹壕の最初の姿(最初の塹壕の写真を見せながら)です。塹壕はこんな感じでした。「(「えーっ、ひどい」と)見えるはずなんですよ。2x4材だけですね。それをゆっくりと、しかし確実に改良して、今に至っているのです。あなた方は生徒

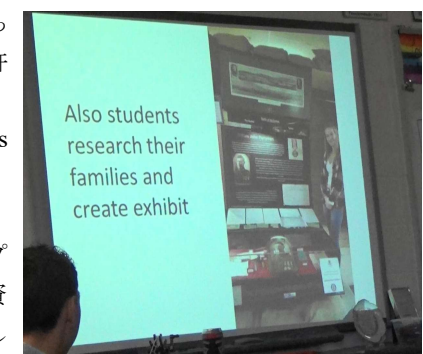
ですからね。教室にある塹壕は生徒によって年々手が加えられ、今に至っているのです。本当に良い遺物もおいてあります。左側にはソムムの戦いの砲弾があり、右側には塹壕の写真も貼ってあります。もちろん、あなた方次第です。この中の何人かは見覚えがあるかもしれません。これが彼らのやりたかったことなんです。彼らは手紙に興味があったんです。この人は、ご存じかもしれませんが、名前はザック・キャリー (Zach Carey) です。ザック・キャリーは、最初のシュターラク・ルフト収容所でホッケーをプレーした人物に、間違いなく注目していましたね。そして彼は実際にドン・チェリーをここに呼んで、「ホッケーナイト・イン・カナダ」をやらせようとしたんです。もしそれが出来たら、とても良い評価を得られると思います。ただ、知っておいてほしいんだけどね。彼はオンタリオ州のウェストヒル出身で、メダルも持っている。彼はトンネルを掘った「大脱走」キャンプのトンネル掘削者の一人です。アメリカの映画では、大勢のアメリカ人が映っていますが、その収容所には、実際にはアメリカ人はほとんどいなかったんです。ほとんどがイギリス人とカナダ人でした。オンタリオ州ウェストヒル出身のカナダ人が掘りました。彼はトンネルを掘ったんです。彼はまた、どの収容所でも初めてホッケーの試合を企画し、実際にホッケーの試合をしました。息を呑むような光景でしたね。ザック・キャリーにとっては、彼はホッケーが大好きで、だからそれを選んだのでしょう。(0:09:35)



こちらは家族の展示です。家族の遺物を持っている人もいますよね。もちろん、この彼女は、第一次世界大戦の曾祖父を称えたわけですが、それも許容範囲内です。バックボードは1枚65ドルなので、費用は支出できます。皆さんは支払う必要はありません。それにしても、ステイプルズ (Staples: 北米最大のオフィス用品店) の印刷は、なんでこんな値段なんだろう。割引もしてくれません。誰かそこで働いている人、なんとかして下さい！そうです。私たちは何千ドルも、おそらく15,000ドルくらいをステイプルズで使いました。お金がないんです。もし、あなたがアルバイトで資金を調達してくれようとするのは素晴らしいことです。でも、素晴らしいことですが、そのようなお金の使い方はしないでください。



ええと、以前来館した方から頂いた私の好きな言葉を紹介합니다。「この博物館はオタワの戦争博物館より良い。オタワの戦争博物館と同じものが全部そろっているし、それほど遠くまで行かなくていいんだ。」この言葉を残しておきます。皆さん、この博物館はきっと楽しいと思いますよ。何人くらいがもう何をするか決めているのかな。いいね。では、遺物を色々見てきてください。手袋をするのを忘れないでくださいね。何か質問はないですか。気合い入ってますか。では皆さん、出発です。いいね。素晴らしい。ファンタスティック。オーケー。(0:10:56)



生徒 A: そうですね。

Flosman 先生: え?

生徒 A: ホロコースト。

Flosman 先生: はい。ホロコーストのどの部分ですか?

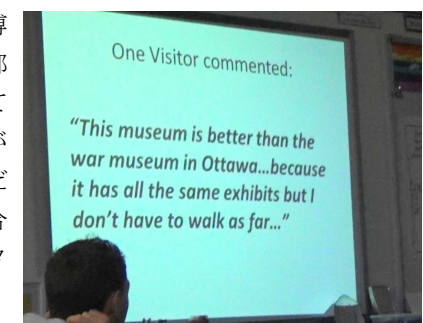
生徒 A: アウシュビッツをやりたいです。

Flosman 先生: わかりました。ファンタスティックですね。さて、あなたは今2時間目のクラスです。ここにはアウシュビッツがあります。3時間目は大丈夫です。だから、4時間目でも3時間目でもいいんだ、ね。アウシュビッツをどう展示する? 考えたことはありますか? どうやって展示するんだ?

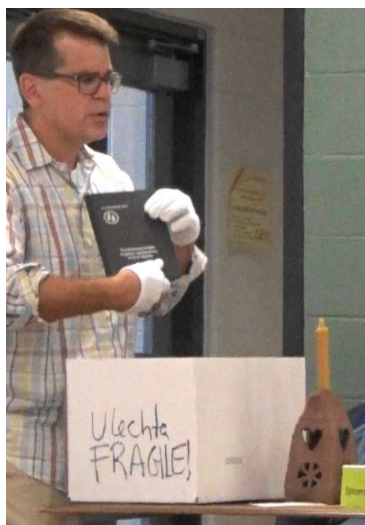
生徒 A: そうですね、去年は***、からの遺物を全部持ってきて、***で、本当にアウシュビッツに興味があったんです。

Flosman 先生: そうなんですか?

生徒 A: そして、彼らが持っていた他の強制収容所。



Flosman 先生：そうそう、そうなんです。いや、そうだな。これをお見せしましょう。これは、もちろん、残念ながら、何千ドルもの価値があるので、持ち出して、触ってもらうことはできません。ここに持ってきて、***ロイヤル・オンタリオ博物館 (ROM) からこれを借りたいという依頼を受け、実際に 1 年間貸し出していました。*** (0:12:26)



SS に入隊すると、誰も SS に入隊しないことをお勧めしますが、ハインリッヒ・ヒムラーから「SS へようこそ」という素晴らしい手紙が届きます。これは本当に奇妙だと思うんです。ドルイドのようなものです。そうです。ユルロヒター (Julleuchter)⁽³⁾と呼ばれるものです。ナチスは、イエスのことを心配していたんです。彼らはイエス崇拝を望んでいなかったのですが、ドイツではほとんどの人がクリスマスをとっても大切にしていたのです。だから、冬至祭りの異教徒の儀式に戻らざるを得なかった。そこで、彼らはユルロヒターを用意しました。彼らはこれを.....これを置いておきますね。陶器製なんですけど、この SS キャンドルを持ち出しました。ナチスの特別なロウソクに違いありません。彼らはそれに火をつけて、そこに投げ入れ、新しい SS マニュアルを読み上げました。これはとても貴重なものです。異教徒の儀式の数々を見ることができるようです。おかしなことの数々を見ることができるようです。この中には、良いナチになるにはどうしたら良いかが書いてあります。また、SS の時にどんな歌を歌えばいいのか、純血、純民族について語ることも書いてあります。だから、もし興味がある人がいたら、しまっておこうと思うんだけど、飾っておきます。*** (0:13:48)

みんな、何か質問は？ ウォーターダウンの生徒は、私が知る限り、世界で最も優秀な生徒です。手榴弾のピンを抜いた少年を除いては、問題が起きることは一度もありませんでした。それ以外は.....剣を持ち出したら、2 人の生徒が剣で闘ったこともありました。ここにあるのは貴重な歴史的遺物です。常識的に、そんなことするわけじゃないじゃないですか。だから、私は彼らを少し怒らなければなりません。でも、ほとんどの生徒は、きちんとしていました。みんな大切にしてくれて、私はとても満足しているんですが、***第二次世界大戦の展示室に行ってみると、これからお見せしますが、これらはそれぞれ色々な家族から寄贈されたものです。これをバラバラに開いて、地図を全部取り出して、写真を撮って、テーブルの上に置いておくといったことをすると、一体、誰が寄贈したのかわからなくなってしまいます。だから、家族の名前も書いてあるわけですが、もしこれを開いたら、家族ごとに保管しておくことがとても重要なんです。ということで、かなり***ですね。 (0:15:06)

あと、もうひとつだけ言っておくと、あまり色々と言いたくはないのですが、ここにはガスマスクが 4 つもあるんです。試着はできません。たぶん死ぬことはないと思いますが、このガスマスクの中の化学物質の状態はわかりません。そこにあるのは冷戦時代のガスマスクです。ポーランド製です。どうか頼みますから装着したりしないでください。いいですね。

みんな、何か質問はある？ 気合い入ってる？ はい、では皆さん、歴史的遺物を見て回しましょう。手袋をして、出発です。 (0:15:45)

《生徒が展示物巡回：約60分間、以下会話をピックアップ（聞き取れる音声を記録）》

生徒たちの話し声

Flosman 先生：オーケー、手袋が足りなかったら、取り分けて、片方の手で持っているものを触ってみてくれる？

生徒たちの話し声

Flosman 先生：あの、***があります。その後、***をずらすと...

生徒たちの話し声

Flosman 先生：***、**に登録している人を見ることが出来ますか？

生徒たちの話し声

Flosman 先生：では、一人は 4 時間目へ、二人は 2 時間目へ。言ってることわかるかな？ だから、2 対 2 なんだよ？ よし、じゃあ君と彼は剣で、それから*** よし、今すぐ決めなくてもいいんだよ。

生徒たちの話し声

Flosman 先生：爆発したら、みんな死んじゃうよ。

生徒 B：マジですか。

Flosman 先生：本当は、空なんだよ。見てください、手榴弾を手にとると中は空っぽです。

生徒たちの話し声

Flosman 先生：これ、みんな、ここで、第二次世界大戦の ***を見せてあげよう。これはもちろん、***有名なレコードプレーヤーで、ランカスターで輸送され、***誰でも買って、人々はこれを愛用しました。音が良かったんです。ちょっと古くなってしまいましたが、私はとてもクールだと思います。

生徒たちの話し声

Flosman 先生：ああ、あれは日本の高射砲だ。あれがあなたの飛行機を撃ち抜いたら、***。

生徒たちの話し声

生徒 C：それで、***と私は、捕虜と***をやるつもりなんだ。

Flosman 先生：不思議ですね、なぜそんなことをするのでしょうか？

生徒たちの話し声

Flosman 先生：よし、ホロコーストは誰がやるんだ？

こっちに来てくれ 誰か冷戦やってる？ 冷戦？ よし、ホロコーストだ。

生徒 D：質問があります。

Flosman 先生：もちろんです。

生徒 D：***のようなことをやりたい場合は？

生徒たちの話し声

Flosman 先生：よし、剣を出して、***の話をしよう、でも、その***は持っていったいいよ。



生徒たちの話し声

生徒 E：これは第二次世界大戦の地図ですか？

Flosman 先生：そう、第二次世界大戦の地図です。それが何かは分かりませんが、***。

生徒たちの話し声

Flosman 先生：誰かが寄付してくれたんです。クローゼットで見つけたそうです、それで***。

生徒たちの話し声

Flosman 先生：本気ですか？ ***のように？ オリジナルの***みたいな？ だって、オタワの戦争博物館に***についての素晴らしい展示があるんだもの。見たことありますか？ だってすごくいいですから。私は気づかなかつたのですが、その後、***は残酷だから、***のように、***で走るだけだから、みんな呼びかけたのですね。

生徒たちの話し声

Flosman 先生：あ、何が言いたいかという、スコットランドの伝統である***なんですけどね。

生徒たちの話し声

Flosman 先生：それは私たちの自慢のポジションです。俺はただ、***だ。刀を一通り持ってきてくれたら、そのまま持っていくよ。だから、みんな～、はい、申し込んでね。美しい。忘れないでください、1 期につき 2 名までです。アンネ・フランクのような人は 3 人必要です。はい？

生徒 F：どこですれば ***？

Flosman 先生：では、第二次世界大戦は...？

生徒 F：ええ。

Flosman 先生：***アップしています。で、刀の展示があります。刀のすぐ横に、ホッケーと第二次世界大戦、両方の名前を入れて、ピリオドも入れてください、いいですね？

生徒 G：刀を持ち歩いてはいけないという法律はないのでしょうか？

Flosman 先生：たくさんあるんですよ。また、想像してもらえばわかるんですが、これがさっき話した日本の皇室の刀ですね。これは日本軍の、見たことがないんだけど、***子どもには触らせたくないんです。まだ切れますよ。*** それと、ここに弾痕がありました。誰かが男を撃って この部分に当てたんだ いいかい？ 切れますよ。***。

生徒 H：2 枚もってきて、真ん中の部分を中心にして左右に置いて、あとは彫るだけ。

Flosman 先生：素晴らしいですね。それは 2 本の***の剣です。これは***です。よくわからないんですけどね。これはユダヤ人の***です。これは***で使われていたものです。これはヘンリー王の印章だから、王室護衛か何かだけど、あれは、えーと、一つは警察官で、一つはゲシュタポだ。よくわかりませんが、どちらも警察官

かもしれないけど、階級が違うんだ。一人は金、一人は銀です。でも彼らは***かなり***であることは否定できない。

生徒たちの話し声

Flosman 先生：そうかもしれませんが、それらは、それらは儀式的なものなのです。これらはすべて儀式用で、これらは戦闘で使われなかったことがわかりますね。***だから、とにかく気をつけてください。みなさん、殺し合いはしないように。私が剣をしまうたびにみんなが「ダメだ 剣を戻せ」と言うんです

生徒 I：剣を取り返すんだ。

Flosman 先生：わかりました。じゃあ、剣をやりましょう。なんだこれは。で、そのこの角のすぐ横にある、***にするんだ。

生徒 J：そこにある全部の剣をやるのですか、それとも一つを選ぶのですか？

Flosman 先生：ええと、あなた次第です。***という問題があるのですが、***です。

生徒たちの話し声

Flosman 先生：あと、人と関わっていますか？ もしあなたが***のようにここに座って、人々が塹壕の中にいる間、彼らの携帯電話を使っていたら、私は「携帯電話を切って、挨拶しなさい」と言います。すみません。どうですか？ あのね、***。「皆さん、塹壕へようこそ」みたいな感じでね。***。

生徒たちの話し声

Flosman 先生：...その砲弾はソムムの戦いのものだったんです。

生徒 K：それ、フランス語ですよ？

Flosman 先生：オンラインの人は、***を見るでしょうね。それで、これが最初に発行されたパイロット免許の一つなんです。

生徒たちの話し声

生徒 L：これ、すごいですね。

Flosman 先生：ああ、見ておいてね。見るだけね。誰もつかないでね。えーと、聞いてください。塹壕の中に入って、えーと、ノア (Noah) さん、2 時間目に行ってくれるかな。

生徒 L：わかりました。

Flosman 先生：そして、2 時間目は他の人がやればいいんです。

生徒たちの話し声

Flosman 先生：では、トーマス (Thomas) さん、あなたの質問には答えられましたか？

生徒 M：あの、***です。

Flosman 先生：ガベ (Gabe) さん、今、***。

生徒 N：喧嘩しているわけではありません。いや、ちょっと...

Flosman 先生：あ、写真を撮るだけですか？ そうか。それはまだ鋭い、だから、ゲイブ、早くその鞆に収まって欲しいんだ。

生徒 O：あの、剣の***って課題なかったですかね、みんなやってたので。

Flosman 先生：3 時限目、昼食は？

生徒 O：うん。

Flosman 先生：では、*** はしないのですか？

生徒 O：じゃあ、2 時限目には出てこないだけか？

Flosman 先生：2 時間目まで来て、"*** " と言うんです。

生徒 O：わかりました。

Flosman 先生：そして 3 時間目は、あなた***。

生徒 O：わかりました。

Flosman 先生：でも、誰もいないの？ 誰かがサインアップしたのは...

生徒 O：いや、4 時間目と 2 時間目があるんですよ。

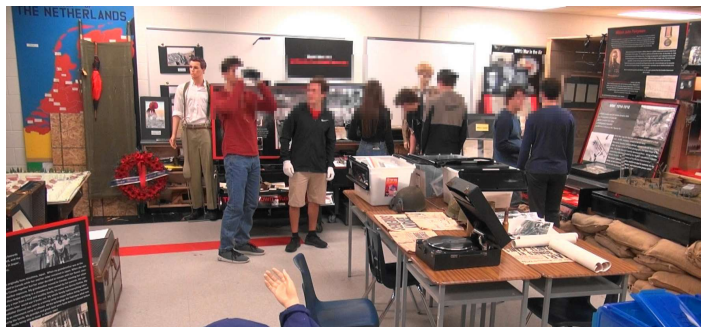
Flosman 先生：それなら昼休みに行った方がいいですね、2 時間目はいつも元気ないですから。

生徒 O：ええ、もちろんです。

Flosman 先生：あのね、だから 3 時間目 ***。

生徒 O：そう、そして 4 時間目には申し込んでいる人しかいないんだ***。

生徒たちの話し声



Flosman 先生：ザンダー（Xander）さん、人を殺すようなことはしないでください。

生徒たちの話し声

Flosman 先生：どうだろう。思い出せません。1,000 個も持っています。思い出せない。えーと、フレア？ いや、照明弾は持っていません。武器は全部戻しましたか？

生徒P：いいえ。

Flosman 先生：みんな、誰も殺さないように気をつけてね。***。

生徒たちの話し声

Flosman 先生：わからないんです。どこに***があるのか、その***の中に入るから、わからないんだけど、見つからない。どこかにあるんだ。ってな感じです。この***、そう、人に飛んでくるように合図を送るようなものだから。順調ですか？ カーター（Carter）さん、地域を選びましたか？ 行くぞ！相棒！***。

生徒たちの話し声

生徒Q：正直なところ、私はほとんどホロコーストをやりたくないだけです。第一次世界大戦は、たぶん私が一番知っていて、他の人に***していることです。ええと、そして誰もがホロコーストが何であるかを知っています。

生徒たちの話し声

Flosman 先生：ありますよ。私は***を持っています。大きな黒電話の一つです。私の机の上にあります。持ってくるよ。わかりました、あなたの***です。

生徒たちの話し声

Flosman 先生：その面を全部取って、***するからです。そして、その一つ一つが***。

生徒たちの話し声

Flosman 先生：皆さん、研究、研究、研究。大好きなんです 研究、研究、研究。

生徒たちの話し声

Flosman 先生：大好きです。じゃあ、みんな、剣をしまってくれるかな？ はい。

生徒たちの話し声

Flosman 先生：さて、問題は、***さん？

生徒R：あー、技術的には、そうですね。

Flosman 先生：違う？ はい、問題ありません。ただ、もし千鳥足なら、もう一枚の絵のを知る必要がありますよね。

生徒たちの話し声 (0:54:48)

◎別室にて（授業開始25分後）

Flosman 先生：去年やったものに君たちが手を加えてもいいんだよ。さっき言ったように、別のクラスのヒーターさんはここに教室を作ろうと思っているんだ。良いアイデアだと思う。ここにある 2 人の子どものマネキンを生徒にするんだ。マネキンがもう一つあるので、ここに置いて、ほら、こんな感じで先生にして。『毒キノコ (Der Giftpilz :反ユダヤ主義のプロパガンダ絵本)』もあるので、使いましょう。新しいアイテムとして、教師用の雑誌もあります。これはナチの教師用雑誌で、生徒に良いナチになるよう教えるための雑誌です。もし興味があれば、これも使いましょう。ここでは、NSDAP の初期を紹介します。水晶の夜。これはユダヤ人のお店です。強制収容所。（教室に作った）収容所に向かう列車を通り抜け、ホロコーストの舞台であるアウシュビッツの展示があります。奥にはアウシュビッツの看板があります。(0:55:42)

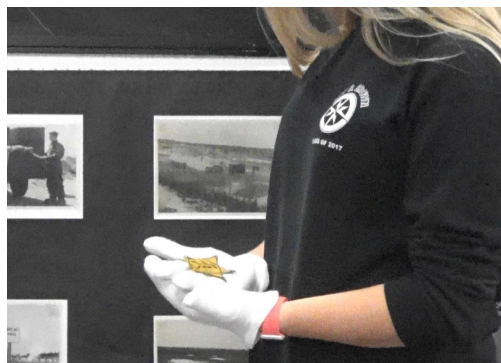


新しいアイテムとして、教師用の雑誌もあります。これはナチの教師用雑誌で、生徒に良いナチになるよう教えるための雑誌です。もし興味があれば、これも使いましょう。ここでは、NSDAP の初期を紹介します。水晶の夜。これはユダヤ人のお店です。強制収容所。（教室に作った）収容所に向かう列車を通り抜け、ホロコーストの舞台であるアウシュビッツの展示があります。奥にはアウシュビッツの看板があります。(0:55:42)

アンネ・フランクをしたいのであれば、そうすることもできます。アンネ・フランクをやりたい人はいるかな。これはアンネの隠れ家の模型です。もっと大きくするべきだと思う？ それとも去年みたいなのがいい？ かなり印象的ですね。(0:56:38)

ホロコーストの生存者で、ハミルトン市に住むナディア・ローザ (Nadia Rosa) ⁽⁴⁾さんの「ユダヤ人の星 (イエローバッジ)」のケースを開けるには手袋を持っていなければなりません。誰もが本当にそれに惹かれてい

るので、開けるけど、破ったりしないように約束してね。この黄色いのが彼女のつけていたホロコーストの星です。手に持ってもいいですよ。手袋をつけてくださいね。彼女は1～2年くらいこれをつけていました。彼女はチェコスロバキアにいたんですね。彼女は家族の友人に裏切られたんです。友人は彼女を裏切って、お金のためにドイツ軍に連絡したんですね。ひどい話です。彼女はアウシュビッツに行くはずだったんですが、アメリカ軍が線路を爆撃してしまって、そのおかげで命拾いしました。誰もが本当にこの展示には惹きつけられます。(0:57:25)



生徒R：緊張する。

Flosman 先生：そうなんだ。すごく不安なんだ。

生徒R：うん。

Flosman 先生：そして、彼女の書類はこれだけです。

生徒R：それを検証することは可能ですか？

Flosman 先生：そう。だから、あなたは彼女を通り抜けることができる。できる、絶対、絶対。ええと、ベッドカバーの向きが間違ってるんだけど。明らかに、緑色だ。ええと、ここには様々な工芸品があり、それを使うことができます。ヘルメットでも何でも。これらを調べてみてください。アンネ・フランクのポスターもありますよ。メノ (Menno) さんはアンネ・フランク・センターの学芸員です。彼は実際に資料を送ってくれるので、彼は自分だけのコレクションを持っていて、それを私たちに貸してくれるというわけです。うれしくて私は正気を失いそうです。もし、アンネ・フランクに関する実物があつたら、私は正気を失うでしょう。それも大きな魅力だ。何か質問は？ よし 楽しんでくれ。この星を命がけで守れ。(0:58:24)

《授業終結 (最後の3分間)》

Flosman 先生：皆さん、早く座ってください。あと数分しかないんですよ。

生徒たちの話し声

Flosman 先生：あの、皆さん、私は奮い立っています。皆さん、真面目にやってくれてありがとう。また、「私にできるだろうか」などと興味を持ってくれていたことにも感謝したい。歴史ではそれが大切です。あなたがワクワクしなければ、誰がワクワクすると思いますか？ あなたがワクワクしなければ、博物館に来てくれた人はワクワクしないでしょう。(0:59:43)

えーと、エイデン (Aiden) さん、このクラスにいますね。彼の家族はユダヤ人を匿っていたんですね。驚くべきことに、イスラエルから手紙が届いたんです。私たちの学校の生徒が、彼の家族がユダヤ人を隠したことを証明したんです。その生徒を知っていますか。彼の名前はイーサン・ラング (Ethan Lang) で12年生にいます。この手紙はイスラエルから来た名誉の式典の案内です。これもどこかに展示したいですね。彼の家族は二人のユダヤ人の子どもを隠していた。彼らは今や「正しい異邦人」です。これは大変なことです。これはイスラエルから来たものです。だからオランダに飛んで、名誉の式典をするんだ。エイデンさんのためにそれを得ることができれば、今あなたはメノーラ (ユダヤの燭台) を持っていることを証明したのだからね。それはどこに行くのですか？ホロコーストに入るのか、第二次世界大戦に入るのか？ わからない。おそらく第二次世界大戦でしょう。(1:00:26)



それから、この二人はリベットで固定されているんですね。ここにバイクがありますね。彼らは今、戦争と冷戦を通じたコミュニケーションの歴史を、エジプトの象形文字からやりたいと言っているんです。それって普通？ いいえ、でも私は大好きです。

それから、あの二人は今、ヨーゼフ・メンゲレ (Josef Mengele) の双子実験をしていますよね。気持ち悪いですね。だから、今、私たちは、今日の憎しみのために、歴史とスクラップして、双子実験をしているんですね。それが私の求めているものです。あなた方は、既成概念にとらわれない発想をしてください。

皆さん、何か質問はあるかな？ 毎週月曜か、少なくとも週に一度、これから準備を進め、博物館を作りましょう。何か質問はありますか？ (1:01:37)

2. 展示品例：生徒が授業中に巡回した歴史的遺物や制作物（一部）



第一次世界大戦中の塹壕の模型
手榴弾、兵員の装備など





収容所に向かう貨車の内部イメージ



アンネ・フランクの隠れ家（家の模型）



アンネ・フランクの隠れ家（部屋の模型）



ナチ時代のドイツの新聞



臨時紙幣



ナディア・ローザ⁵⁾の身分証
ユダヤ人の星（イエローバッジ）



ナディア・ローザからの寄付物

3. フロスマンへのインタビュー（授業前に歴史的遺物等を巡りながら）

Flosman 先生：（博物館展示会について） ここが博物館のエリアです。ここは教室なのでとても見づらいと思いますが、毎学期 2 週間、机を出して、ここがすべて博物館になり、2 週間一般公開されます。毎年 1,000 人の見学者が来ています。

両親、祖父母、地域の人たちがみんな来てくれているので、生徒もとても誇らしいです。今年は、冷戦の終結から、あるいは鉄のカーテンが崩壊してから 30 年を迎えます。これがその場所です。これは第一次世界大戦、これは第二次世界大戦です。さあ、有名な塹壕をお見せしましょう。私たちは博物館に塹壕を作りました。第一次世界大戦の塹壕です。それをお見せしましょう。こちらです。

Flosman 先生：（塹壕模型の中で） なるべくリアルにしようと思っただけ。だから、塹壕の中に入って、銃を撃って.....プシュ、プシュ。生徒たちはそれが大好きなんです。こうやって学んでいくんです。よし、これがファイヤーステップだ。これはダックボード。これは手榴弾です。塹壕の深さは 2 メートルか 1.3 メートル、1.4 メートルくらいでないといけないんです。これは 2 フィートの高さだから、撮影や射撃ができる。当たらないし、下に潜ることもできる。ここにある遺物はそれぞれ本物です。本物のヘルメット、本物の旗、本物のバッグ、本物の塹壕アートです。これは本物です。つまり、私たちが持っているものの多くは、本物の遺物なのです。

訪問者：これはカナダの国旗ですか？

Flosman 先生：そうです。変える前の昔のものです。古い旗です。ここにある、この学校にある本物の遺物はとても貴重なもので、私たちはそれを集め、今では 1,000 個の歴史的遺物があるんです。だから、一度にすべてを生徒に見せることはできないんですよ。毎年違うものを出して、ローテーションしていきます。

訪問者：生徒の中には、歴史にまつわる家族の問題の闇を抱えている家庭もあるので、生徒の意識が気になりますね。家族の暗部について話さない、話したくない、言及しない生徒もいると思うのですが、このようなことについてどう思われますか？

Flosman 先生：それはとても重要なことです。素晴らしい質問です。あなたの言うとおりです。ある生徒が泣いて言いました、「私の祖父はナチでした。彼はドイツ人でした。彼は人々を殺しました。」私たちはそれを壁に貼り出しません。でも、もし彼女が望むなら、博物館ではなく、個人的に歴史を探求することを許可します。そうでないなら、別の課題をする。強制はしていません。でも、おっしゃるとおりです。他にも南アフリカを脱出した人たちがいます。彼らは白人です。彼らには暗い過去がある。暗い過去がある場所はどこにでもあります。だから、私は押し付けないようにしていますが、ほとんどの生徒は理解したいと思っています。難しいですね。とても難しいけれど、とても大事なことです。

訪問者：歴史についてどう思いますか？ 歴史的な問題、また一般的な歴史についてどう思いますか？ あなたが生徒に取り組みせる家族の歴史では、生徒の歴史をピックアップします。その生徒の歴史はとても狭く、とても小さいので、歴史の意味や一般的な歴史についてどのように考えたらよいのでしょうか？

Flosman 先生：一般的な歴史？ はい、とても重要な質問です。私の感覚では、一般的な歴史は 100 万の物語でできていると思います。だから、いいじゃないですか。この上に貼ってある年表を見て下さい。これは我々の歴史の年表です。アメリカの歴史、大虐殺の歴史、そしてカナダの歴史です。あなたはどこに当てはまりますか？ 私はどこに当てはまるのでしょうか？ 私の物語は何でしょうか？ なぜなら、それこそが最も重要だと思うからです。私の哲学は、私の祖母が死んだことです。私は彼女と話をすることができればと思います。この生徒たちには祖父母がいます。彼らはまだ生きています。彼らは自分たちの歴史を学ぶ機会があるのに、気にも留めないのです。40 歳、50 歳、60 歳になって初めて、「ああ、この歴史を知りたい」と思うのです。だから、歴史や全体像は、語られるべき小さな物語でできていると思うんです。もしそれが暗いものであっても、理解される必要がありますし、生徒たちが罪悪感を抱かないようにする必要があります。それはあなたのせいではありません。あなたのせいではないのです。先ほど話した生徒、ローリー (Laurie) は、泣いていましたが、しばらくして、「分かって良かった。」と言いました。もう一人の女の子は、彼女の祖母がロシア兵に虐待されたそうです。とてもひどい歴史です。祖母はそのせいで頭がおかしくなりましたので、祖母に何が起こったのか理解したいと思ったのです。しかし、それは重要なことです。

Flosman 先生：（日系カナダ人収容所遺品の前に移動） これはブリティッシュ・コロンビア州にあるキャンプです。リルート (Lillooet)。日系人の収容所の一つです。今日は、祖父母がこのキャンプにいたという生徒があなたたちに会いに来るでしょう。ひどい話です、我々がしたことは、このトランクは彼らのものでした。家族全員がたった一つのトランクに全てを入れて、この収容所に行かなければならなかったんです。(写真を見せて) これがその人たちです。これは実際のトランクで、彼女の祖母がこのカードを作りました。ある

日突然、政府がやってきて「あなたの持ち物はすべてこの箱の中に入れなければならない」と言われることを想像できますか？ そして、彼らは仕事も失います。ひどいことです。だから、私たちは暗い話ですが、伝えなければならないのです、この話を。この日本人たちはカナダ人でした。彼らはずっとカナダ人だったんです。これは今からあなた方に会いに来る生徒の展示品です。祖父母たちは 1900 年に広島から移ってきました。収容された祖父母の生涯について、彼女は友人たちと一緒に展示品を作りました。彼女はあなたたちに会いたがっています。この子は祖父母がこのキャンプにいたので、「こんにちは」と言いに来るわけです。(注：その後、休憩時間にその生徒は我々に会いに来ました。)

Flosman 先生：(軍装展示品の前) これらは第二次世界大戦中の本物のアイテムで、ベルト、ガスマスク、手榴弾は明らかにそうです。生徒は好きなものを選んで展示物を作ることができるようになったのです。

訪問者：太平洋では、日本軍と日本海軍が、アメリカ海軍やオーストラリア海軍と戦いました。質問があります。日本は第二次世界大戦について、中国や韓国と対立しています。カナダの人たちはどうでしょうか？ 彼らは日本と対立しているのでしょうか？ 対立や反日感情はあるのでしょうか？

Flosman 先生：反日感情はありませんが、南京や南京は教えます。日本が満州に侵攻したことも教えます。ですから、私たちは常に良いことも悪いことも見ているのです。だから、「ナショナリズムで歴史を見てはいけない」と言うようにしています。私たちは日本人の抑留をやった。南京のことは悪いことです。でも、杉原千畝を見るとね。杉原千畝です。私は彼の息子に会いましたが、杉原千畝が何千人ものユダヤ人を救ったという話をしてくれました。つまり、良いことと悪いことを様々に見るわけです。だから、私たちはその両方を教えています。カナダの良いことも悪いことも、ドイツの良いことも悪いことも教えて、「悪いことばかりではないんだ」と言わせるのです。だから、ここには反日はない。私たちは決してそれを許さない。日本は私たちの友人です。日本とは非常に良好な関係にあります。しかし同時に、私たちは何が起こったのかを素直な目で見ています。

Flosman 先生：(ホロコーストの部屋に移動) "ナチズムの始まり"、"反ユダヤ主義の高まり"、"ユダヤ人に対する憎悪"。それは水晶の夜と呼ばれています。水晶の夜とは "割れたガラスの夜" です。

これはアンネ・フランクです アンネ・フランクを知ってますよね。アンネ・フランクの寝室を作ったのは、生徒たちがアンネ・フランクについて学べるようにするためです。

これは、私たちが最も大切にしているナディア・ローザの展示品です。お見せします。いつも鍵をかけておかないといけません。これが彼女のホロコーストの星 (イエローバッジ) と書類です。

これはユダヤ人を輸送するための列車の車両です。そして、ここにこうやって入って、ホロコーストの中に、つまりアウシュビッツに降りていくわけです。私たちの博物館では、11 月になると、これがすべてライトアップされ、とても暗く、とてもとても悲しいものになるのです。

訪問者：この軍服はどこで手に入れたんですか？

Flosman 先生：ドイツの軍服もありますが、これはハミルトンの男性からのものです。彼の死後、彼のクローゼットから見つかりました。これはドイツ国防軍の正規軍の軍服です。

これらはデア・シュトゥルマー (Der Sturmer) と呼ばれています。反ユダヤ主義のナチスの新聞です。これはユダヤ人が悪者になっている。この特別なものは私の友人からのものです。彼女はドイツから仕入れています。彼女が買ってきたもので、マクマスター大学のコレクションの一部です。これはナチスの教師向けの雑誌です。

Flosman 先生：歴史について、そして歴史の重要性とは何かというご質問をいただきました。昨年、生徒たちはこのホロコーストを作り上げました。これを経て、こうなって、こうなった。歴史と憎しみはまだここにあるということです。これは今日の事です。これは以前のことであり、今日の事でもあるのです。だから、これらを見て「まだひどいことが世界のあちこちで今でも続いている」と思うのです。本当に、なぜ私たちは歴史から学ばないのでしょうか？

4. フロスマンのGenocide & Crime Against Humanity のテキスト

<https://history-lessons.site/pdf/RobFlosman%202019TEXT.pdf> に掲載。

5. フロスマンのGenocide & Crime Against Humanity の学習活動の評価規準（ルーブリック）

<https://history-lessons.site/pdf/RobFlosman%20Rubric.pdf> に掲載。

6. フロスマンとのメール（訪問後）

【2022年8月28日：二井→フロスマン】

フロスマン様 お元気でお過ごしでしょうか。

今、日本ではコロナウイルスが大流行しており、私の家族も夏休みを家の中で過ごしています。さて、私は2019年9月に貴校を訪問し、校内や授業を見学させていただきました。現在、一緒に訪問した原田先生、宇都宮先生、田中先生たちと一緒に本を出版しようと考えています。本のテーマは『レリバンスの構築を重視する歴史授業の実践と理論』です。この本で、生徒が歴史や歴史の授業を自分のこととして認識することの重要性を強調したいのです。この本で先生の実践を書かせていただくのは、先生の実践が日本の歴史の先生方にとって非常に参考になると思うからです。そこで、いくつか質問をさせていただきたいと思います。

- (1) 教師としてどのような賞を受賞されましたか？また、美術館づくりの授業を始めたのはいつ頃ですか？
- (2) 歴史の先生になろうと思ったきっかけは何ですか？自分や親戚の歴史的な体験と関係があるのでしょうか？
- (3) 私たちが参観した授業の単元計画があれば、教えてください。また、参観した授業が単元計画のどこに該当するかも教えてください。
- (4) 見学した博物館を作るという授業は、オンタリオ州の歴史カリキュラムとどのように関係しているのか教えてください。
- (5) ウェブで、あなたが「Facing History and Ourselves」とつながっていることに気づきました。このNGOとの関係や、あなたの授業との関係や影響について教えてください。

新学期直前の忙しい時期にお願いし、タイミングが悪くて申し訳ないです。 正浩

【2022年8月31日：フロスマン→二井】

正浩！ お元気ですか？ Covid19 が復活して、夏の予定を台無しにしてしまい、大変残念です。でも、お元気そうですね。メールと写真をありがとうございます。私はあなたやあなたの仲間に会えてとても楽しかったです。あなたの質問にできる限り答えようと思います。あなたの仕事にとって十分なものであることを願っていますし、また何か必要なことがあれば知らせてください。

以下、ご覧ください。

- (1) 私が歴史の先生になろうと思ったのは、私の家族の豊かな歴史...良くも悪くも...と、私の人生における何人かの偉大な先生の存在があったからです。バリンジャー先生は高校の英語の先生で、生徒の意見に耳を傾けてくれた最初の先生でした。彼は私が言うことに価値を与えてくれました。もう一人は、大学1年生の時の歴史学の教授です。ジョージア大学のラーソン教授（現在はペパーダイン大学に在籍、ピューリッツァー賞受賞：https://en.wikipedia.org/wiki/Edward_J._Larson）彼は並外れた教師でした。生まれて初めて、雷に打たれたような衝撃を受けました。彼の姿を見ているうちに、教えることが自分のやりたいことだとわかったのです。
- (2) 博物館活動は2013年に始まりました。ニューヨークから来たアンネ・フランク展を受け入れる機会を得たのですが、生徒たちが歴史的遺物を扱い、作業することにとっても興奮しているのに驚きました。そこで、私たちは生徒が運営する博物館を立ち上げることにしました。地域社会に歴史的遺物を求め、「Facing History」（詳細は後述）とロータリーに連絡を取りました。そして、それぞれから2000ドル（塹壕と展示ケースのための資金）を受け取りました。
- (3) 受賞歴
 - a. トロント大学認定教師賞；2007年
 - b. HWDSB プロファイリング エクセレンス；2007年、2013年、2018年、2019年

- c. シャロン・エンキン賞：ホロコースト教育部門；2013年、2019年
- d. ポール・ハリス・フェロー、国際ロータリー；2016年
- e. 総督府歴史賞優秀教育賞受賞；2017年

(4) Facing History (歴史に向き合う)。この団体は、私の教育実践を活性化させる鍵となり、博物館だけでなく、ホロコーストとジェノサイド教育を教えるためのツールを与えてくれました。マサチューセッツ州ブルックラインに本拠を置いています。この団体は、生徒たちに「歴史と向き合う」機会を与え、その機会を利用して地域社会に参加し、よりよい世界を目指す積極的な市民となることを信条としています。この博物館は、私をより良い教師にしてくれただけではありません。すべての歴史教師は "Facing History and Ourselves" を受講しなければならないでしょう。前述したように、彼らは私たちの博物館の資金援助もしてくれました。彼らは、資料や授業づくりで教師を助けることを信じています。もしご希望であれば、Facing History のトロントオフィスの方々と連絡を取ることができますよ。

(5) カリキュラムについて。カリキュラムは学校に行かなければならないので、次回のメールで送ります。カリキュラムと博物館活動はとても結びつきが強いので、それも一緒に送ります。

また、正浩さんの声を聞いてうれしいです。原田教授、宇都宮教授、田中教授にもよろしくお伝えください。お元気で、ロブ

【2022年9月2日：フロスマン→二井】

再びこんにちは！正浩...このメールは8月31日からのメールの続きです：Genocideの学期スケジュールと、博物館活動を含む各プロジェクトへの全体的な予定です！これが役に立つといいのですが。また、どのようなことが知りたいか教えてください。ロブ

【2022年9月2日：二井→フロスマン】

ロブさん、こんにちは。

早速のメールありがとうございました。とてもうれしいです。

今日もスケジュールを送っていただき、ありがとうございました。お元気そうでなによりです。

現在、生徒の個人的・社会的レリバンスを満たす歴史の授業の実現を目指して、日本の先生方に良い実践と理論を紹介する本を作っています。あなたの授業はとても参考になると思います。日本の先生方に紹介する価値があると思います。そこで、さらに、いくつか質問をさせていただきたいと思います。

(1) 博物館を作ろうと思ったきっかけは何ですか？ 博物館づくりの過程で、生徒たちにどのような指導をされますか？ 生徒たちは、地域の歴史資料をどのように探したのでしょうか？ その際、生徒が歴史を自分の問題として考えるように、言い換えれば、歴史とのレリバンスを見出すように、どのような工夫をされていますか？ これについて何か資料がありますか？ もしあれば、送っていただけませんか？

(2) 博物館建設の授業と「Genocide & Crimes Against Humanity (Semester 1,2019-20)」は、オンタリオ州の歴史カリキュラムのどの部分に関係するのでしょうか？ 日本では公的なカリキュラムが強く施行されていますが、オンタリオ州ではどのように施行されているのでしょうか？ 私がこのような質問をするのは、あなたのような実践を日本の公的なカリキュラムに取り入れる方法を考えようとしているためです。また、あなたを訪問した際にいただいた「Genocide & Crimes Against Humanity (Semester 1,2019-20)」にはCHG38という番号がありましたが、これはオンタリオの歴史カリキュラムと関係があるのでしょうか？

(3) 「Genocide & Crimes Against Humanity (Semester 1,2019-20)」のテキストの3ページ目にThe Hope Projectというのがあります。このプロジェクトには3つの選択肢が示されていますが、各生徒の作品をいくつか見せていただけないでしょうか。歴史が獲得した個人的・社会的レリバンスについて、生徒がより深く学ぶための良い資料となると思います。

これから原稿を書き進めていく中で、新たな疑問がたくさん出てくると思います。これからも質問させていただきます。正浩

【2022年9月7日：フロスマン→二井】

おはようございます！お元気でお過ごしでしょうか。CHG 38 (Genocide)がカリキュラムの中に見当たらないのは、それが地域的に開発されたものだからだと理解しています。つまり、教育委員会は、オンタリオ州カリキュラムのOVERALL EXPECTATIONSを遵守する限り、必要性に基づいて地域で開発されたクラスを作成することができます。前回のメールでそれらを送りました。しかし、この博物館は、Jennifer WattとJill Colyerの

著書「IQ A Practical Guide to Inquiry Based Learning」オックスフォード大学出版(2014)で概説されている Inquiry based Learning の考え方と、カナダの歴史 <https://historicalthinking.ca/historical-thinking-concepts> (どちらもオンタリオ州のカリキュラムに採用されています) で概説されている歴史的思考の考え方に合致しています。さらに当館は、オンタリオ州カリキュラムに概説されている「シティズンシップ教育フレームワーク」を忠実に守っています。 <http://www.edugains.ca/resourcesCurrImpl/Secondary/CWS/CitizenshipEducationFrameworkWorksheet.pdf> コミュニティ・エンゲージメントの部分と、博物館がコミュニティ・リーダーシップとどのように結びついているかがよくわかりますね。

私は、歴史が単なる事実の羅列であることに苛立ちを覚えていたのです。そこで私は考えました。音楽の授業は最終学年の演奏会に向けて、演劇の授業は最終学年の劇に向けて、体育の授業はスポーツや大会に向けて動いているとしたら……。なぜ、歴史も同じような成績基準で取り組めないのだろうか？ 2012年にニューヨークから「アンネ・フランク展」のオファーを受けてから、私は博物館を主催することが望ましいと考えるようになりました。私は、地域の人々と生徒に地下室を調べ、祖父母に話を聞くように頼みました。美術館に集まってきたものに、私は圧倒されました。その勢いは留まるところを知りません。今では約 1200 点の遺品があります!!!! トレーニングの面では、私たちのプログラムの中心であるプレゼンテーションのスキルを教えています。地元の博物館の学芸員に、照明や良い展示のポイント、博物館の案内係としての振る舞いについて話をしました。このループリックは、次回のメールでお送りします。

後ほど、生徒の作品を送ってみようと思います。ミュージアムドクターガイドのループリックと生徒の作品にスポットを当てたメールを何通か送ってみようと思います。うまくいくといいんだけど。お元気で ロブ

【2022年9月11日：二井→フロスマン】

ロブさん 先週はたくさんの資料を提供していただき、ありがとうございました。
その本の名前を教えてくださいませんか？ できれば、「教室ミュージアムづくり」についてのページを送っていただけると嬉しいです。 正浩

【2022年9月12日：二井→フロスマン】

もちろんです！ この本は、オンタリオ州のカリキュラムに採用され、高校レベルのすべての歴史科目の基礎となっています。この本は、ピーター・セイシャス博士とトム・モートンによって書かれた「ビッグ・シックス：歴史的思考の概念」(2013 Nelson Education Ltd.) と呼ばれる本です。それでは、良い一日をお過ごしください。 ロブ

【2022年9月20日：二井→フロスマン】

こんにちは ロブ
いつも私の質問に答えてくれてありがとうございます。今日も質問させてください。
記録や記憶が曖昧かもしれませんが、2019年に見学した「Genocide & Crimes Against Humanity」コースについて、いくつか質問させてください。細かい質問や要望もあるのですが、可能な範囲でご回答いただけないでしょうか。カナダの学校について正確な知識がないため、おかしな質問もあるかと思いますが、ご容赦ください。
Q1：先日、「2022年版コース・アウトライン」が送られてきましたが、そこに今年度のカレンダーがありました。2019年の時のコースワークのカレンダーをお持ちの方は、お送りください。
Q2：このコースは基本的に月曜日から金曜日まで毎日行われるのでしょうか？また、1回の授業時間はどのくらいですか？
Q3：2019年に授業を見学した際、このコースの生徒用テキストの資料をいただきました。このテキストについて、いくつか質問させてください。
Q3-1：テキスト 1 ページ目について。このコースは入学の前提条件がないと書いてありますが、ウェブサイト (<https://educator.xello.world/course-guide/9e242762-2be5-4507-841c-abcda9d94f27>) では、10年生で第一次世界大戦以降のカナダ史が必要だと書いてあります。どちらがより正確なのでしょうか。
Q3-2：テキスト 2 ページ目、Journal1 についてですが、9月の第2週に行われる Journal 1 の狙いは何ですか？指導方法の概要を教えてください。授業で趣旨を説明し、生徒が授業外で構想を練り、授業で発表するのでしょうか。それとも、生徒が授業中にアイデアを出し、クラスで発表するのでしょうか（生徒の発表に関するデータがあれば、いくつか例を教えてください）。
Q3-3：テキスト 2 ページ目、ナチス・プレゼンテーションについてですが、10月1日から3日にかけて行わ

れる「ナチス・プレゼンテーション」の指導方法について教えてください。授業中に準備するのでしょうか、それとも授業外で行うのでしょうか。発表の内容は、授業でナチスについて教えたこととどのように関連しますか（生徒の発表のデータがあれば、例を教えてください）。また、生徒が授業中に発表の準備をしたのであれば、その日をカレンダーに記入していただけますか？

Q3-4：テキスト 2 ページ目、Monument and Spoken word についてですが、10 月 31 日の Monument and Spoken word の指導の流れを教えてください。ここでは具体的にどのような指導や生徒の活動が行われるのでしょうか。また、生徒はこれらの活動のために準備するのでしょうか？この活動の準備は授業中に行うのでしょうか、それとも授業外で行うのでしょうか（Monument and Spoken word がどのように行われるかを示すデータがあれば、その例を教えてください。また、生徒が授業時間中に発表の準備をする場合、その日をカレンダーに記入していただけますか？）。

Q3-5：テキスト 2 ページ、Museum Oral Journal2 についてですが、博物館活動の授業プロセスの概要を教えてください。資料では 11 月 11 日から 22 日までがこのプロジェクトの授業時間となっていますが、9 月、10 月はどのような授業スケジュールだったのでしょうか。可能であれば、その日もカレンダーに記載していただけないでしょうか（2019 年 9 月の授業は拝見しました。また、Museum Oral Journal2 では具体的にどのような指導や生徒活動が行われるのでしょうか。Museum Oral Journal2 の成果を示す資料があれば、例を教えてください。）。

Q3-6：テキスト 2 ページ、「アップスタンダー・プレゼンテーション」についてですが、12 月 17 日から 20 日にかけて行われるアップスタンダー・プレゼンテーションの授業の進め方について教えてください。準備は授業中に生徒が行うのでしょうか？準備は授業中に生徒が行うのでしょうか、それとも授業外で行うのでしょうか？この取り組みは、ホーププロジェクトと関係がありますか？（アップスタンダー・プレゼンテーションの実施状況を示す資料・作品があれば、例を教えてください。）

Q3-7：テキスト 3 ページ、ホーププロジェクトについてですが、このプロジェクトは、テキストの 4 ページにある TimeTable の期日に基づいて、生徒が授業で取り組むのでしょうか？その場合、いつ、どれくらいの授業時間をこのプロジェクトに費やすのでしょうか。もしそうでなければ、各生徒は授業外でこのプロジェクトに取り組み、テキスト 4 ページ目にある TimeTable の期日に基づいてあなたがチェックするのでしょうか？また、例としてホーププロジェクトの 3 つのオプションのそれぞれの生徒の作品について、いくつかのデータを教えていただけますか？（すでに送っていただいたものもあるのでしょうか。）

Q3-8：テキストの 8-45 ページには、ジェノサイドの様々な例が紹介されています。これは教科書ではなく、授業で使う資料なのでしょうか？生徒が活動している授業以外では、これらのジェノサイドを紹介するような授業をしていますか？また、講義の内容や使用する教科書はどのように考えていますか？

先生の授業を見学させていただき、歴史が生徒に深く関わっていることを明確に教えている姿を素晴らしく感じました。私は今、日本の歴史教師の方々にこのことを紹介したいと思っています。歴史が生徒にとって個人的及び社会的な問題であることの重要性が、日本でもっと理解されなければならないと思います。よろしくお願ひします。正浩

【2022 年 9 月 28 日：フロスマン→二井】

正浩さん、こんにちは。お元気でお過ごしでしょうか。お返事が遅くなったことをお詫びしなければなりません。もっと早く回答するつもりでしたが、今週は忙しかったんです。とにかく、私はできる限り各質問に順番にお答えします。

A1：コースには 2019 年の要素もありますが、私は毎年改善しようとするのが好きで、子どもたちが何が来るのかわかると、それが助けになるかもしれないと思いました。なので、講座の概要カレンダーは新しくしました。

A2：月曜日から金曜日まで毎日 75 分です。

A3-1：通常、すべての生徒は、11 年生または 12 年生の歴史コースなどの上級コースを受講する前に、CHC 2D または CHC 2P Canadian History 1914-2022 を受講する必要があります。しかし、特別な許可を得た生徒は、10 年生で履修することができます。そのため、このルールは生徒の状況に応じて柔軟に対応します。

A3-2：イントロダクションと対になっています。レッテルという考え方を導入する。ホロコーストを始めるにあたり、生徒たちは、レッテルがいかに破壊的であるかという考えを紹介する。現実のものにするために、子どもたちがどのようにレッテルを貼られ、それが彼らの人生にどのような影響を与えたかに注目します。また、子どもたちが他人にどのようなレッテルを貼ったか、そしてそのレッテルが他人にどのような影響を

与えたかを理解できるかどうかにも注目します。これは、ラベルがいかにかに有害であるかを説明する上で、最も重要な点の一つです。これは、子どもにとって非常に不愉快なことであり、共有されるべきものではありません。これは個人的な考察です。残念ながら、私は例を挙げることができませんが、多くの子どもたちが、小学生の頃にいじめっ子から受けたネガティブなレッテルをいまだに感じていることは確かです。ほとんどの高校生がレッテルを貼り続けていることを話し合いながらも、言葉は重要であり、深く傷つくことがあることを話しています。クラスディスカッションとして話し合っています。

A3-3：ホロコーストの単元では、ナチス政権の加害者を一人調べさせ、クラスで発表させています。授業で取り上げたプレゼンテーションの方法について調べ、採用する必要があります。これは非常に重要なことです。私は、プレゼンテーションのスキルを、人生において非常に重要なスキルだと考えているので、多くのことよりも重視しています。ですから、私は素晴らしいプレゼンテーションのモデルにもなりますが、悪いプレゼンテーションのモデルにもなります。そして、生徒たちにルーブリックで採点してもらいます（ルーブリックを送るのを忘れていましたので、お許しください。ルーブリックの最後の部分は、ご覧の通りです。生徒たちは、ナチスの加害者を動機づけたと思われるものを探求することになります。しかし、もし彼らが望むなら、これを他の「大きな疑問」に変更することができます。例えば、ナチスが引き起こした論争について探究したいのであれば、その探究に適したルーブリックに書き換えるのです。少なくとも 10 日間は準備期間を設けますが、毎日授業があるわけではありません。授業では、最大 150 分まで部分的に時間を与えています。また、次のテストで使用する短いメモを提出させます。

A3-4：モニュメントとスポークンワードは、このコースの 2 つの非常に重要な側面を検証しているので、私のお気に入りです。ジェノサイドの追悼と、世界の問題（例えばウクライナの戦争）に対する発言です。これらは、学習のスタイルが異なる人（モニュメント：芸術的、触覚的）、また（スポークンワード：詩的、文学的）にとって役立ちます。私はそれぞれを始める手助けをしています。世界中のモニュメントを見せ、自分たちのモニュメントをどのように発展させることができるかを探るためのパラメータを与えます。私の場合は、例文とその作り方（隠喩、比喩、擬人化を 1 つずつ使う）を見せます。一番いい例は、<https://www.youtube.com/watch?v=ltun92DfnPY> の「To this day」です。ただし、これを各自で行い、クラスで発表する。準備のための授業時間は与えられません。すべて自分たちで行います。しかし、彼らはクラスで話し言葉を発表します。また、子どもたちが机から立ち上がり、それぞれの記念碑を見て回る記念碑の展示も行います。ルーブリックと一緒に、いくつかの例を挙げてみることにする。

A3-5：オーラル・ジャーナルは、生徒が博物館の解説員として仕事をすることです。オーラル・ジャーナルは私の個人的なミーティングです（これは 2 週間かかります：）私は、生徒が地域社会とどのように関わっているか、彼らが自分の展示について知っているかどうかを観察し、彼らが何を学んだかについてフォローアップの質問をします。これは、どちらかというインタビューに近いものです。私は、毎日生徒を観察し、生徒と対話します。

A3-6：アップスタンダー・プレスは、ナチスのプレゼンとまさに鏡像のようなものです。しかし、この作品では、違いを生み出し、大義のために、あるいは人々を助けるために立ち上がることの遺産と影響について探求します。このことの代償と遺産を探ります。これは世界にどのような影響を与えたのでしょうか？例えば、日本の偉大なアップスタンダーである杉原千畝のように！）そして、彼の行動によって、どれだけの人が今生きているのでしょうか？ ここでも、準備のために同じ 150 分。これは、人が行う選択について、よりポジティブな例で授業を締めくくるという意味で重要です。生徒がクラスで準備をしている間、私は前回のナチのプレゼンテーションのマークとルーブリックによって、改善すべき点を思い出させます。個人面談で各生徒が改善すべき点を概説します。こうすることで、生徒はセカンドチャンスで自分の個人的なスキルを向上させるように努力することができます。

A3-7：希望プロジェクトは個人的なものであり、それに取り組むための授業時間はありません。しかし、彼らはずっと進歩の証拠を私に見せる必要があります。そうすることで、私が生徒を軌道に乗せることができるのです。そうでないと、ぎりぎりになって失敗する人が出てくるからです。生徒の作品例は送りましたが、地域や学校のプロジェクトは送っていません。これらは図解するのが難しいのです。私はこのためのアイデアを提供したと思いますが、私がお見せできる最高のものはテキストの 38-39 ページにあります。私は非常に小さな男女別学ユニットを持っていましたが、ここに書かれている 3 人の生徒がそれを拡大したいと言ってきました。つまり、彼らは実際に単元を作るのを手伝ったのです。そして今、彼らの仕事に基づいて、私はそれを 5 日間のユニットに拡大しました。生徒がカリキュラムの推進役を担ってくれたのです

A3-8：私がまとめて編集したこのテキスト（資料）は、講座の基本テキストです。テキストが無いので作り

ました。これを私のパワーポイントや資料を使って講義や授業で補っています。エリー・ヴィーゼルの『NIGHT』やジョージ・オーウェルの『動物農場』も使っています。また、Facing History の Holocaust and Human Behaviour : <https://www.facinghistory.org/resource-library/holocaust-human-behavior> を使用しています。私はあなたのクラスを訪問し、歴史が彼らに深く関連していることを明確に生徒に教えていることに感銘を受けました。日本の歴史の先生方にも紹介したいと思うようになりました。歴史が生徒にとって個人的・社会的な問題であることの重要性は、日本でももっと理解されなければならないと思います。

コメント これは私にとって非常に意味のあることで、感謝しています。マサヒロさん、私は幼い頃から歴史を学んできましたが、それは私にとって何の意味もありませんでした。ノートの羅列で、過去の人たちの動機も理解できず、ただテストのために勉強していました。さらに言えば、カナダ史で自分の歴史を見たこともありません。しかし、自分の歴史や出身地を知ることが、最も重要なことだと実感しています。

質問に対する私の回答が満足のいくものであれば幸いです。そしてまた、返事が遅くなり申し訳ありません。また、ルビを振って、モニュメントの例を探してみようと思っています。歴史と向き合うという点では私はこのテキストが本当に好きで、頻繁に使っています。アマゾンにあります。

<https://www.amazon.ca/Holocaust-Behavior-Facing-History-Ourselves/dp/1940457181>

【2022年10月1日：二井→フロスマン】

こんにちは ロブ

日本では秋らしくなってきました。カナダの秋は美しいのでしょうかね。

さて、また質問です。今日の質問は、コースのスケジュールとテストについてです。

あなたのテキストは、主に Part 1 Genocide と Part 2 Standing Up で構成されています。

このパート1はいつ終了し、パート2はいつスタートするのでしょうか？

博物館活動が終わったら、パート1は終了するのでしょうか？

2019年度のカレンダーには、テスト1が11月5日、テスト2が1月9日に実施されることが記載されていましたね。どのような質問をされたのでしょうか？差し支えなければ、教えてください。

考えれば考えるほど、色々と知りたくなります。

よろしくお願いします。正浩

【2022年10月4日：フロスマン→二井】

正浩さん いつもお便りありがとうございます。そうですね、空気が冷たくなり、紅葉も進んでいますね。私がこの国で教え始めた1996年当時、歴史の授業のほとんどは知識ベースで、事実や日付に関するテストに主に頼っていました。これがご存知の通り、探究型学習に変わりました。しかし、私は今でも生徒には一般的な知識（アウシュビッツ・ビルケナウの事実、ホロコーストで600万人のユダヤ人が死んだことなど）の基礎が必要だと考えています。そこで、主に知識ベースのテストを2つ用意し、現在、それぞれ6%ずつ出題しています。このテストは、1.私の授業、2.生徒のプレゼンテーション（テスト1はNazi presentations、テスト2はUpstander presentations）、3.私のテキストに基づいています。私は、多肢選択式や記述式など色々な方法を使用します。例えば「ホロコーストの原因をジェノサイドの8つのステージのうち4つを使って概説しなさい。」という問題では、私は8つの段階を提供します：(すなわち) 人間性の喪失、象徴化...など、生徒は学んだ歴史的証拠を使って段階を特定する必要があります。これがお役に立てれば幸いです。では、また。

【2022年10月5日：二井→フロスマン】

こんにちは ロブ 早速のご返信ありがとうございました。

テストに関する情報がとてもわかりやすかったです。参考になりました。

今日はもう一つお願いがあります。

(1) 現在執筆中の書籍の資料として、写真も掲載したいと思っています。以下の写真をお持ちであれば、ご提供いただけると幸いです。

○生徒たちが作成したジェノサイドのモニュメントの写真。

○博物館の公開中の内部の写真。(展示の様子と生徒、観客の写真)。

(2) 生徒の発表データ

○アップスタンダー・プレゼンテーションのスライド例

○軍人でない人に関する Hope Project の生徒作品のスライド例

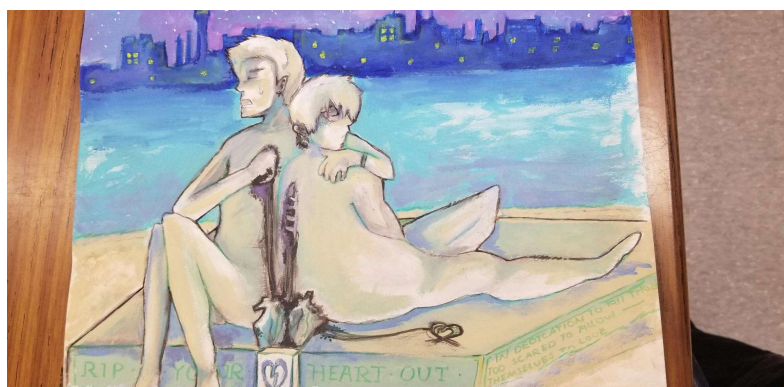
いつもお願いばかりで申し訳ないです。よろしくお願いします。正浩

【2022年10月11日：フロスマン→二井】

正浩さん、お元気でしょうか。こちらは紅葉が進み、確実に秋が来ています。博物館活動の地域の素晴らしいパートナー、ソフィー・ボアーズさんをご紹介します。ソフィーのお子さんは私の学校に通っていて、博物館活動に関するメディアをたくさん作っていて、写真もたくさん持っています。彼女はあなたが本を書いていることを知っているのです、もっと良い画像を送ることができます。私の携帯電話でも画像を送ってみようと思いますが、あまり良い画質ではないかもしれません。ありがとうございます、これから写真を送り始めます。私は博物館のいくつかと生徒のモニュメントのいくつかを送信します。お元気で、ロブ

7. 生徒諸作品（フロスマン提供分）

(1) 「ジェノサイド追悼碑」(Monument) 作品



(2)「博物館 (Museum)」展示期間中の様子



(※資料の都合で 2019 年以外の写真を含む)

(3) 「行動者」についての発表例 (Upstander Presentation)

(※資料の都合で 2019 年以外の作品を含む)

①環境活動家：ジェーン・グドールについての発表スライド

Jane Goodall
An Environmental Upstander
By: Claudia and Emily



1

Early Life

- Born April 3, 1934, in London
- Always loved animals and nature
- She loved her stuffed animal chimpanzee
- Had a dream to travel



2

Motivation

- Wanted to achieve her dream of studying animals
- Was very passionate about animals and wanted to work with them up close.
- Got an opportunity to live in Gombe with chimpanzees from Louis Leakey
- Wanted to help captive chimpanzees and study them.



3

Her Work

- Found that chimps can make and use tools
- Found that chimps are omnivores not herbivores
- Found that chimps can feel 'human emotions' like joy and sorrow.



4

Her Activism


- Former president of Advocates for Animals.
- Speaks on the effects of climate change and on endangered species
- Tries to remedy the effects of deforestation
- Petitions to stop the use of animal testing in medical treatments
- Created a workshop to bring attention to conserving biodiversity
- Petitions to abolish the caging of farm animals.



5

Impact on the world

- Showed people the urgent need to protect chimpanzees
- Redefined species conservation to include the needs of local people and the environment
- Transformed our understanding on chimps and redefined the relationship between animals and humans
- Is taking action through youth-led projects and service campaigns to carry out her plan (e.g. Roots & Shoots)



6

Was Her Work Worth It?

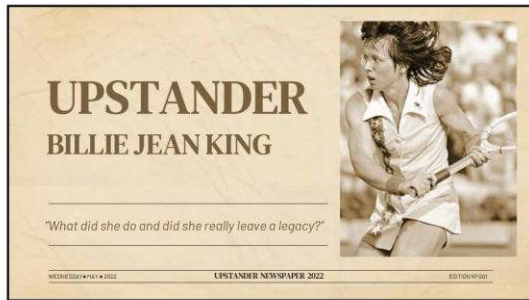
Absolutely

- Made ground-breaking discoveries
- Transformed our understanding on our closest relative in the animal kingdom
- Has inspired others to protect chimpanzees, and to protect all living things as well as the environment



7

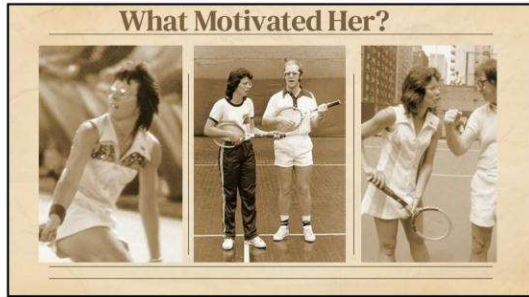
②テニスプレーヤー：ビリー・ジーン・キングについての発表スライド



1



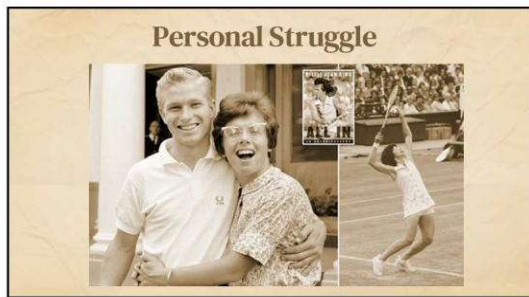
2



3



4



5



6



7



8



9



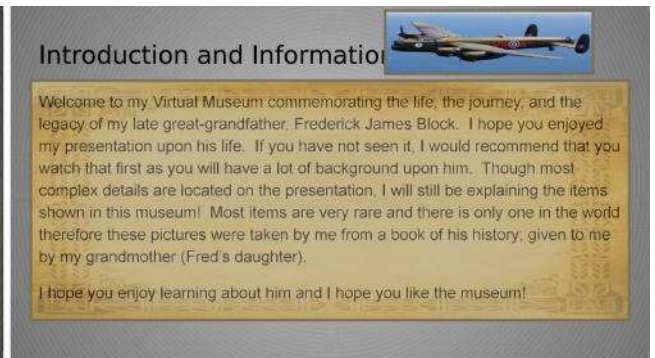
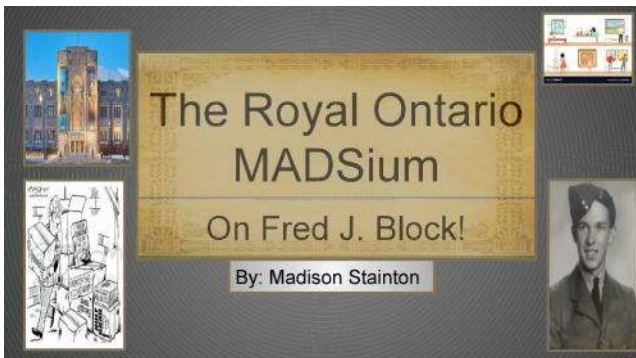
10

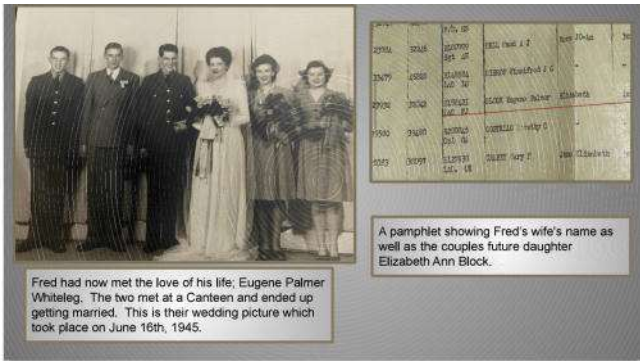
(4) 「希望プロジェクト：家族の歴史」についての発表例 (Hope Project: The Self & Family)

①英雄の壁 (Wall of Heros)



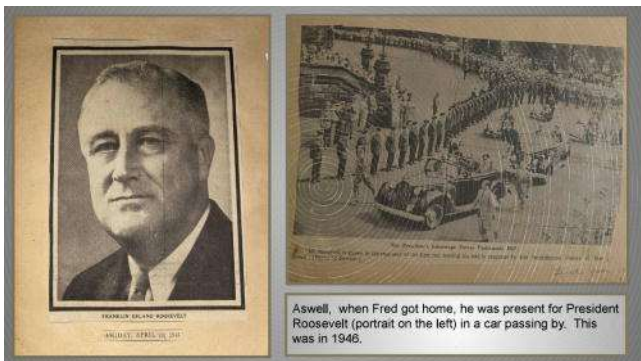
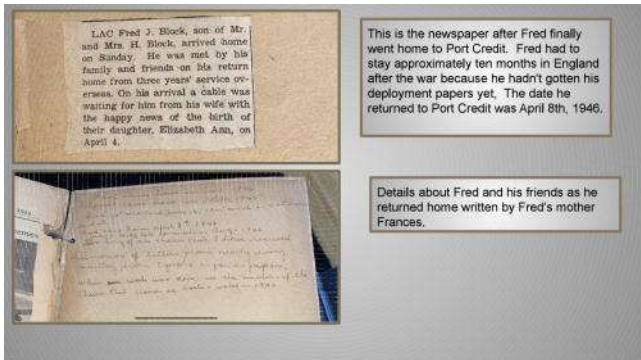
②家族の歴史





2350	3248	22770	191	191	191
2367	4888	22770	191	191	191
2370	2370	22770	191	191	191
2380	3187	22770	191	191	191
2393	3099	22770	191	191	191

A pamphlet showing Fred's wife's name as well as the couples future daughter Elizabeth Ann Block.



Final Thoughts

Though most of these pieces are pictures and newspaper articles, they truly aided in describing and telling my great grandfathers story and helped me to share his story with more people including you!

I hope you learned a lot about Fred as well as enjoyed this virtual museum based off of a man who truly helped shape history through his short, yet well significant life.

Thank you for your time!

Madison Stainton

8. Web情報（いずれも最終参照：2022年11月14日）

(1) Waterdown District High School

- ・学校 Web ページ：<https://www.hwdsb.on.ca/waterdown/>
- ・コースガイド：<https://educator.xello.world/course-guide/9e242762-2be5-4507-841c-abcda9d94f27>

(2) Mr.Robert Flosman

- ・<https://www.youtube.com/watch?v=N6n59RRmWqo>
- ・<https://www.youtube.com/watch?v=YB4jGFne8PA>
- ・https://www.youtube.com/watch?v=cKlsTC_dgOc
- ・<https://www.youtube.com/watch?v=vNjcTeoAV3c>
- ・<https://www.youtube.com/watch?v=49VGL6DvPFw>
- ・<https://www.canadashistory.ca/awards/governor-general-s-history-awards/award-recipients/2017/rob-flosman>
- ・<https://www.cbc.ca/news/canada/hamilton/waterdown-teacher-receives-award-1.4399288>
- ・<https://www.flamboroughreview.com/news-story/9272510-wdhs-teacher-rob-flosman-wins-2019-sharon-enkin-award/>

ほか多数。

(3) オンタリオ州カリキュラム

- ・<https://www.edu.gov.on.ca/eng/curriculum/secondary/canworld910curr2018.pdf>
- ・<https://www.edu.gov.on.ca/eng/curriculum/secondary/2015cws11and12.pdf>

(4) 「希望の博物館」(Waterdown Museum of Hope)

2022年6月フロスマンの博物館活動は、地元の協力を得て常設展示館としてオープンすることが発表された。博物館は2023年11月に移転、開館する。フロスマンの授業はここで行われ、生徒は毎学期2週間自分たちのプロジェクトを展示し、ガイドとして活動することが予定されている。

- ・<https://waterdownmuseumofhope.ca/>

(5) その他

- ・Facing History and Ourselves : <https://www.facinghistory.org/>
<https://facingtoday.facinghistory.org/author/rob-flosman>
- ・The Historical Thinking Project : <https://historicalthinking.ca/>

【注】

- (1)オンタリオ州では、9 学年（14～15 歳）または 10 学年（15 歳～16 歳）から 12 学年（17～18 歳）までが高等学校に相当する。Waterdown District High School は四年制の高等学校（9-12 学年）に該当する。
- (2)2015 REVISED The Ontario Curriculum Grades 11 and 12, Canadian and World Studies ECONOMICS•GEOGRAPHY •HISTORY•LOW•POLITICS, pp.351-367. <https://www.edu.gov.on.ca/eng/curriculum/secondary/2015cws1land12.pdf> (参照 2022 年 9 月 18 日)
- (3)キリスト教の儀式に取って代わることを目的とした「異教の」伝統に基づいている蝋燭台。ヒムラーは SS に加わったに家庭内に設置するよう指示した。 <https://en.wikipedia.org/wiki/Julleuchter> (参照 2022 年 9 月 18 日)
- (4)ハミルトン市在住のホロコーストの生存者。1938 年チェコスロバキア生まれ。
- (5)同上。

《本資料で紹介した授業やインタビューの資料は、すべて Mr. Robet Flosman に提供して頂いたものである。心から感謝したい。また、資料等の解釈や英文翻訳に誤りがあれば、それはすべて資料を整理した二井の責任である。なお、英語原文での資料を希望される方は二井（masahiro.nii@gmail.com）までご連絡頂きたい。》



2019.9.18